

令和2年度 第14回 政策決定会議 会議録

◆開催日時:令和3年2月2日(火) 11:00~11:25

◆開催場所:市長公室

◆出席委員:永野市長、堤副市長、大下教育長

◆審議事項

・岸和田城天守閣耐震対策検討委員会の設置について……………観光課⇒承認

◆審議概要

『岸和田城天守閣耐震対策検討委員会の設置について』

〈説明者〉前田魅力創造部長、西河観光課長、畑部担当主幹、高橋担当長

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて本件原案どおり承認された旨、報告。

※案件内容は付議依頼書に基づき説明。政策調整会議における議論内容は、以下のとおり。

【政策調整会議における議論内容】

- ①岸和田城天守閣耐震対策検討委員会においては、主に、観光、歴史資料等の展示・収蔵方法を含めた耐震対策について議論する予定であること。
- ②条例改正を伴うため、議会への説明を丁寧に行うこと。
- ③耐震対応費用の捻出方法について、誰もが城に愛着を持ち、参加したくなるような寄附の募集方法を考えるとともに、文化庁だけでなく幅広い分野の補助金を調査、検討し活用できるようにすること。
- ④耐震改修工事を行う場合は令和7年度からを予定しており、令和4年度以降の岸和田城及び観光交流センターの指定管理者を募集するにあたり、工事による影響を考慮し、令和2年度中に仕様書等の内容を検討すること。

◎報告後、質疑応答

〈堤副市長〉工事期間は、今後の観光資源としての活用や事業費にも影響する。文化財調査も含め方法は、専門家から意見をもらいながらよく議論するように。また、財源について、様々な補助金の活用やクラウドファンディング及び寄附を募るための方法など、観光・資金調達 WG で議論するように。

〈観光課長〉承知した。

〈教育長〉コンサルは、公募し、2年間で債務負担をして契約するのか。

〈観光課長〉そうである。

- 〈魅力創造部長〉本市の予算として、令和3年度に 100 万円、4年度に 300 万円を見込んでいるが、文化庁の補助金等でコンサル費用が出る可能性もあり、様々な選択肢を検討していきたい。
- 〈教 育 長〉各 WG で具体的な内容を詰めていくことだが、コンサルの力量が事業の成否を左右する。魅力・観光発信ができるようなノウハウを持っている事業者に参加してもらえるように。
- 〈市 長〉工事期間が数年かかるにしても、木造建築の技術継承や展示ができるような工事になれば価値ある取組になるのではないか。文化財保護法の対象は八陣の庭のみか。
- 〈観 光 課 長〉現在の岸和田城の景観も含め、八陣の庭が文化財に指定されている。
- 〈魅力創造部長〉市民から、木造当時の設計図や模型等があるか募りたいと考えている。文化庁の文化審議会を経る必要があり、現状、木造での建替えは認められない。
- 〈市 長〉耐震化を入口として、様々な方法を検討できれば良い。市民が参加できるような、建替えを楽しめるような工夫を検討されたい。
- 〈教 育 長〉インバウンドを留めるために、大阪城や和歌山城ではできない体験型の観光が有効。そういったことも考えながら耐震化について検討するように。八陣の庭が現在の岸和田城の景観を前提として文化財指定されているので、岸和田城の外観が変わることについて、文化庁は認めていない。大阪府の文化財担当課や文化庁と協議し、可能性を探っていくように。
- 〈総合政策部長〉国土強靱化に係る補助金はなかったか。
- 〈観 光 課 長〉現在確認中。
- 〈総合政策部長〉本案件について、原案どおり承認してよろしいか。

【異議なし】

⇒本件を、原案のとおり承認する。

令和3年1月 26 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 魅力創造部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田城天守閣耐震対策検討委員会の設置について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	岸和田城天守閣における岸和田市市有建築物耐震化実施計画に基づく耐震診断の結果、耐震安全性が十分でなく補強が必要と判断されたことにより、今後の岸和田城天守閣の耐震対策に関する計画を策定するため、有識者等による検討委員会を設置しようとするものである。
説明者	観光課長 西河鉄二 観光課担当主幹 畑部 徹 観光課担当長 高橋宏和
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和2年度 第14回会議
付議事項	岸和田城天守閣耐震対策検討委員会の設置について

★取組の目的

対象	市民及び観光客
どのような状態を目指す	岸和田城天守閣の耐震対策について調査審議する検討委員会を設置し、耐震対策に関する計画を策定する。

★総合計画上の位置付け

101030102	基本目標	I-1 生きがいを創造する
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(3)郷土への愛着心が育まれている
	目指す成果	①郷土の文化がしっかりと引き継がれている
	行政の役割	イ 岸和田の歴史や文化を保存・活用する

★現状と課題

岸和田城天守閣における市有建築物耐震化実施計画に基づく耐震診断の結果、耐震安全性が十分でなく補強が必要と判断されたことにより、天守閣の耐震対策に関する計画について調査審議させるため、市長の附属機関として検討委員会を設置しようとするものである。
岸和田城は国指定名勝八陣の庭の重要な構成要素となっていることから文化財対応の専門性や大掛かりな耐震対策(事業規模としては10億円以上を見込む)に対する専門性を必要とする事業であることから、観光課が他課と連携するという形ではなく準備室の設置が必須と思われる。
また岸和田城については令和3年度に新たに指定管理者を募集する予定となっており、現在は二の丸広場観光交流センターとの組み合わせで城周辺の賑わいの創出を見越して5年間の指定管理者を想定しているが、その5年間で耐震対策を行うとなると、入場者数や企画できるイベントにも制限がかかってくることになる。その点についても指定管理者の募集にあたり、考慮が必要となってくると考えられる。

(別紙資料)
 ・岸和田城天守閣耐震改修等検討委員会及びワーキングチーム名簿(案)
 ・スケジュール表(案)
 ・想定している耐震対策費用の捻出方法(案)
 【参考】岸和田城改修の選択肢

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	H30年度	R1年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
委員会開催費用				352	352			
計画策定コンサル委託料				1,000	3,000			
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源				1,352	3,352		
	その他							
事業費			計	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			4,704	1,352	3,352	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
有	無	4	0	0	0	0

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	目標値				
					R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①									
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。